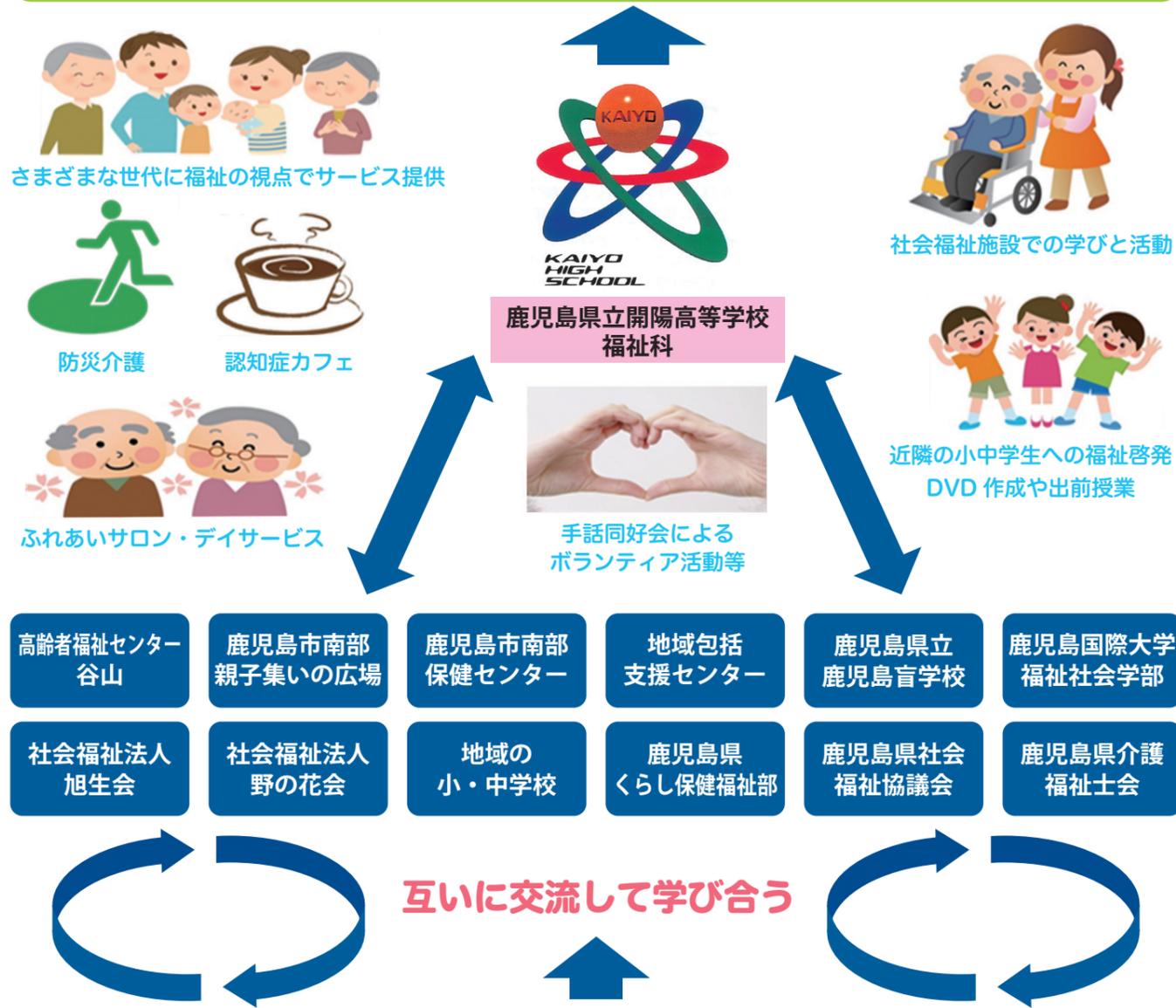


「地域創生人材育成プロジェクト」イメージ

多様な福祉ニーズに対応できるプロフェッショナルケアワーカーの育成
～地域の特性を活かした学びから、共に支え合う地域福祉の充実へ～



これからの時代を担う高校生が、生徒達のアイデアで、高齢者や乳幼児、子育て世代等の異年齢との交流と学びを促進し、生きがいと健康づくりのための機会やプランを考案し、実践できるようにする。

地域の課題

近年、転入した若い世帯と昔からの高齢化世帯のコミュニティ意識の低下、核家族化による子育ての不安、山間部に住む高齢者の孤独と介護問題、防犯・防災に備える意識の希薄化、介護マンパワーの不足。



本校の取り組み

この図は、本校の取り組みを詳細に示しています。中心には「開陽高校 福祉科」があり、その周囲には様々な活動と関係機関が配置されています。

- 専門的授業:** 多くの専門的授業、アルテンハイム、米盛病院。
- ボランティア:** さまざまなボランティア、防災介護。
- 交流:** 高齢者との交流、認知症カフェ、介護のイメージを変える!!、親子との交流、多世代との交流。
- 関係機関:** 西谷山小学校、鹿児島盲学校、南部親子集いの広場 たにっこりん、南部保健センター、谷山中学校、指宿枕崎線、谷山第一中央公園、地域包括支援センター、鹿児島国際大学。

谷山地域の特徴

鹿児島市南部に位置し、市街地となっている平坦部と住宅団地のある丘陵部、臨海部で構成される。人口は、本市人口の約 27% を占め、中央地区に次いで多く、近年増加傾向にある。地域年齢別人口構成では、市内で最も高い生産年齢人口比率約 6 割で子育て世帯が多いが、山間部では人口減と高齢化が進行し、地域で人口構成や増減傾向が異なる。